



2019年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日: 令和2年2月10日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
体制・環境整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			現状では特に問題ない。
	2 職員の配置数は適切であるか		✓		曜日により手薄になっていることがある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			入退室や移動等々がスムーズにできるよう配慮している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		✓		行っているが、振り返りの内容を充実させたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			面談の際に保護者の方にもアンケートをお願いするとともに、懇談会や日々の報告等を使って意向を把握し改善につなげる。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページや懇談会等にて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	スーパーバイズの活用により環境面や療育、対応面等について改善を図っている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			内部研修やスーパーバイズ、外部研修についても取り組んでいる。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			年2回の個別面談とともに日々の療育後の情報交換にて細やかなニーズの把握につとめている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		✓		利用開始時に標準化されたアセスメントツールを用いて利用者の適応行動の状況を聞き取りしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			職員間で意見を出し合って取り組んでいる。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			長期の休みや休日等を活用して療育に変化をつけている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			利用の時間帯を柔軟に対応しながら取り組んでいる。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		✓		集団活動を行うのにスペース的に難しく、個別活動の計画になっているが同じ時間帯のお子様と数名で活動することはあり、計画に盛り込んでいる。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			朝の時間帯で打合せをし、スペースの確認と特別な対応等について共有を図っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			その日の保護者や利用者とのやり取りの中で共有するもの等について振り返りを行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			日々毎回記録をとり、振り返ることで改善につなげる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			年2回モニタリングを行った上で保護者との個別面談を行い、支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		✓		ガイドラインに則した基本活動を組み合わせる支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			会議へは該当児者の状況に詳しい職員が出席する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			保育所等訪問を行っている。また学校行事等への参加や保護者からのヒアリングを行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		✓		保護者を通して行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			必要に応じて直接のヒアリング。保護者からのヒアリングも行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓			要請があれば積極的に対応している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			連絡会等への参加を含め連携を図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			地域へのイベント参加や主催行事にて一緒に取り組む機会を設ける。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			担当の職員が参加し、内容はフィードバックしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			日々の報告とともに適宜の相談や個別面談等を活用しながら共通理解に努める。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		✓		個人の経験から助言等は行っているが、プログラム化されたものについては今後取り組む。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約時及び更新時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			適宜いろいろな形で対応させてもらっている(日々の療育、個別面談、電話等々)
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			保護者の横のつながりがもてるように茶話会を設定したり、父母の会の活動に参加する等連携に努めている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			特定の窓口を設けて迅速にできるような体制で臨んでいる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			お子様によって内容をメールでお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	✓			文書、画像ともに十分に配慮して取り扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			利用者等の状況に応じてわかりやすい方法を取っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			クリスマスコンサートを開催し、地域の方も参加できるようにしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			災害時のマニュアルは避難訓練(職員)にて確認し訂正していく。防犯、感染症マニュアルは今後作成予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			今後、子供たちと一緒に訓練を行いたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			ガイドラインを配布。日常の中で話題とし意識づけしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			生命に関わるのが第一義であることを保護者に対して説明し同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			保護者を通して情報を把握している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			ヒヤリハット事例は共有し対策については早急に対応する。